

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		-	-
		商店街（代表者）	・東京オリンピックが近づき、ますます良くなる。
		商店街（代表者）	・客の購買意欲等が高まっており、人出が見込まれる夏季の繁忙期を迎えて良くなる。
		一般小売店〔薬局〕 （経営者）	・猛暑の予報で栄養剤等の売上が見込まれ、やや良くなる。ただし、ターミナル駅の発展で都市部に客が奪われ、地方の景気は悪くなる。地元の駅前に再開発の話はあるが、まだ先である。
		一般小売店〔書店〕 （営業担当）	・新年度予算が本格的に動き出し、取引が活発になる。
		百貨店（売場主任）	・お中元やセールが始まるので、来客数の増加を期待している。
		百貨店（経営企画担当）	・6月も高い気温で推移する見通しで、夏物衣料品や雑貨等を中心に動きが活発となり、売上増加が期待できる。
		百貨店（計画担当）	・新規商業施設のオープンで、ターミナル駅の商圏への流入人口が増えており、しばらくは好調が見込まれる。
		スーパー（総務担当）	・高額のお中元商品の引き合いが増えている。
		スーパー（支店長）	・気候が良くなり、人の動きが増えて購買力も上昇している。今後も期待がもてる。
		コンビニ（企画担当）	・東京オリンピックやリニア新幹線の整備等で求人倍率は高い。人口減少により、緩やかだが雇用環境の改善が見込まれる。
		コンビニ（エリア担当）	・新商品を中心に徐々に客の反応が良くなってきている。
		コンビニ（エリア担当）	・チェーン統合に伴うブランド変更が進むにつれて、売上が増加しており、今後も良くなる。ブランド変更が一段落した後にはどうなるかは未知数である。
		家電量販店（店員）	・客は、高額商品への抵抗感が少なくなっている。
		家電量販店（店員）	・今年の長期予報は猛暑の見込みで、エアコンや冷蔵庫等、白物の季節商材の動きが顕著になることを期待している。
		乗用車販売店（経営者）	・ボーナス商戦で6～7月は動きが期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・ボーナスシーズンから夏休みに入る。世の中としては明るい話題が多く、何か政治的な問題が起きない限り、良い方向に向かう。
		その他専門店〔雑貨〕 （店長）	・お盆休みの時期は期待ができる。お盆明けから9月上旬には、また横ばい状態となる。
		その他専門店〔雑貨〕 （店員）	・政権の安定により経済にも落ち着きを感じられ、堅調な動きが見込まれる。
		その他専門店〔雑貨〕 （店員）	・夏休みになるので、家庭の購買量等に変化が表れる。
		高級レストラン（役員）	・ゴールデンウィーク後は少し落ち着いた感があったが、客足が戻ってきている。先々の予約の入り方も堅調である。
		その他飲食〔ワイン輸入〕 （経営企画担当）	・賃金はパート、アルバイトを中心に上がっており、家計には余裕が感じられる。その余裕が消費に向かう。
		観光型ホテル（経営者）	・大口を含む団体客の受注がかなり多く、良い状況にあり、大河ドラマの効果を改めて感じている。個人客にも動きが出てくるので、7月下旬から8月にかけてはやや良くなる。
		観光型ホテル（販売担当）	・2か月先までの予約状況は、一般宴会が前年同期比で100%を超えており、全体を押し上げている。宿泊客の数や宿泊宴会はもう一息だが、今よりははやや良くなる。
		旅行代理店（経営者）	・ボーナスの使い道が決まり、夏休みの家族旅行を計画するファミリー層に期待している。プレミアムフライデーで有給休暇を推進する企業があるようで、関連した旅行の問い合わせも増えているため、一層推進してほしい。
		タクシー運転手	・今月も既に暑い日が多いが、この先も暑いという予報であり、タクシーを利用する客は増加し、売上も伸びる。
		タクシー運転手	・5月が良くなかったので、今と比べれば良くなる。
	通信会社（営業担当）	・夏にかけては、上向いてくる。	
	その他レジャー施設〔鉄道会社〕 （職員）	・地元の祭りを始め観光が本番の時期となる。著名人が当地を応援してくれているので、その効果にも期待している。	
	その他住宅〔室内装飾業〕 （経営者）	・先々につながる見積りや契約等が、足元では多い。	
	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕 （経営者）	・売却の相談が増加している。新システムの導入による来客数の増加にも期待している。	
	商店街（代表者）	・必要最小限の物しか購入しない状況が続く限り改善はしない。来客数は横ばいのため、これ以上悪くなることもない。	

商店街（代表者）	・景気はやや上向きではあるが、すぐに下り坂になる可能性もあり、状況は大きくは変わらない。
商店街（代表者）	・ターミナル駅周辺エリアの1人勝ちである。他のエリアでは落ち込みがあり、全体的には変化はない。
一般小売店〔生花〕（経営者）	・世間全体としては、まだしばらくこのままの状況が続く。
一般小売店〔土産〕（経営者）	・良くなっている状況のまま変わらない。
一般小売店〔土産〕（経営者）	・しばらくは20年に一度の遷宮の間の一番静かな時期に入る。伊勢志摩サミット、全国菓子大博覧会と続いた大型行事も終了し、当面は大きなイベントがないことから、観光市場も多少落ち着く。クラフトビール市場は、引き続き好調である。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食店の来客数が増える要因がない。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・伸びている企業は、贈答品をたくさん利用するが、全体としては、先行きへの不安からコストダウンに努める企業が多い。個人客は、付き合いの範囲を狭くしている。プラスとマイナスがあるが均衡し、3か月先も変わらない状況が続く。
一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・経済の問題よりも政治や世界情勢等の問題が大きく、先行きが不透明である。
百貨店（売場主任）	・紳士フロアでは、来客数が極端に減少することはない。暇なときは本当に暇で、1時間に1足売れるかどうかであるが、夕方になると少しずつ売上も回復する。客単価は低いですが、売上が変わることはない。
百貨店（企画担当）	・株価の上昇で景気も好転するかと思われたが、実際のところ堅調なのは生活必需品で、中間価格帯の衣料品・雑貨や高額品は伸び悩んでいる。消費拡大に対して、先行きの生活や海外情勢への不安が向かい風になっている。
百貨店（経理担当）	・非日常的な消費には回復がみられるが、賃金やボーナスは伸び悩んでおり、可処分所得が増加しない限り景気は一本調子では改善しない。
百貨店（販売担当）	・北朝鮮等の地政学的リスクや米国の政治問題に対する不透明感が、経済的な見通しのつきにくさに通じており、慎重な見方とならざるを得ない。
百貨店（販売担当）	・夏の商戦とともに、客の購買意欲が高まってくる。販売量は増えるが、低価格帯の動きが活発になるため、売上としては大きな変化はない。
スーパー（経営者）	・消費はあまり伸びないが、失業率は下がり完全雇用に近い状態となる。夏季休暇で働く日数が少なくなるため、レジャーが盛んになり親子が触れ合う時間は増える。レジャーを中心に消費は活発になるが、製造業は休みが多くなるため、生産活動の落ち込みが心配である。
スーパー（経営者）	・ゴールデンウィークは全国菓子大博覧会に客足を奪われ、5月は良くなかった。先行きも期待できる要素はなく、天候不順等で青果が高騰しなければ、現状維持である。
スーパー（店員）	・販売量、客単価共に低い状況が続いており、なかなか景気が良いといえる状況にはならない。
スーパー（店員）	・食用油等、一部商品の値上がりしが売上に影響する一方、スイカ、アイスや飲料等がカバーする。
スーパー（販売促進担当）	・買い回り品の購入が少なくなっている。
スーパー（人事担当）	・株価の上昇や、一部の人には賃上げがあるかもしれないが、景気回復の実感は末端にまでは広がっていない。
スーパー（販売担当）	・来客数が減少し続けている原因がわからないため、先行きも何ともいえない。
スーパー（営業企画）	・前年同月比での下降傾向も底を打ち始めており、これ以上の下落はない。
スーパー（販売担当）	・前年同期比の客単価と予算比の売上は未達であるが、前年同期比の売上、来客数は、共に100%を超えている。ビール類の値上げで、客単価は更に下がるが、売上は横ばいと見込まれる。
コンビニ（店長）	・ビール類の値上げで、スーパーやディスカウントストアから、宅配サービスのある店に客が戻るのでと期待する。
コンビニ（エリア担当）	・来客数の伸びが前年同期比1%とやや厳しい。販売企画による対応が必要であるが、品ぞろえの強化には少し時間が必要である。
コンビニ（エリア担当）	・客の動きに影響するような大きな外的要因はない。

コンビニ（店長）	・ 繁華街の人出が増加していないため、今後も同じように推移する。
コンビニ（商品開発担当）	・ 購買意欲を改善する機会が、すぐにあるようには感じない。
衣料品専門店（経営者）	・ バーゲン時期になっても、馴染み客しか購入しない傾向が強くなっている。
衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	・ よほど景気が好転しない限り、企業としては活路が見いだせない。
乗用車販売店（営業担当）	・ 大きな事件が起こらなければ、景気が今よりも悪くなる気配はないが、株価が2万円近くまで上がっても、景気が良くなっているという実感はない。
乗用車販売店（経営者）	・ 悪くなる要素は見受けられない。
乗用車販売店（経営者）	・ 現状のまま変わらない景気が続いており、定着している。国の政策も目に見える効果は表れておらず、環境が変化するようにも考えにくい。
乗用車販売店（従業員）	・ 5月は良かったが、景気が回復していると実感できることはないので、先行きが更に良くなるかどうかはわからない。
乗用車販売店（従業員）	・ ボーナスシーズンを前に主力車種の変更も発表されるため、店頭のにぎわいが戻り、夏休みの予定に合わせた新車購入の検討が進むことを期待したい。
乗用車販売店（従業員）	・ 当分は新型車種の発表もなく、新車の増販が見込める要素はないが、前年もかなり厳しかったため、地道な活動で前年並みの販売台数は維持できそうである。
乗用車販売店（従業員）	・ 新型車種の投入効果で販売は上向きが期待できるが、工場は、車検等の入庫対象台数が前年同期を割り込むので、全体としては変わらない状況が続く。最近はボーナスを車の購入費に充てる客が少ないので、ボーナス時期でも大きな期待はできない。
乗用車販売店（総務担当）	・ 夏のボーナスは前年比で若干の減少が見込まれており、消費が盛り上がる気配はない。
住関連専門店（営業担当）	・ 人手不足や資材の高止まり等で建築物価も上がっている。建築業界全体では、新築需要が伸び悩んでいるが、老朽化した建物の耐久工事やリノベーション工事は増加している。
その他専門店〔書籍〕（店員）	・ 夏休みやお盆休みがあり、できるだけ多くイベント等を計画して来客数を増やしたいが、支出がレジャーに流れるため、期待はできない。
一般レストラン（経営者）	・ あまり良くなる要素がない。
一般レストラン（経営者）	・ 米国の政策次第である。
一般レストラン（経営者）	・ 良くなる理由が見当たらない。
スナック（経営者）	・ 商売の先行きの不透明さや景気の悪さで、小遣いも節約ムードとなる悪循環が続いている。今後はどうなるか心配であり、期待はできない。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・ 政府が何か明るい方向性を示してくれれば、雰囲気が変わって良くなる。
都市型ホテル（従業員）	・ 予約数から横ばいが見込まれる。
都市型ホテル（経営者）	・ 先行きが読めない。
都市型ホテル（支配人）	・ 宿泊部門は、新規ホテルの開業が続き供給先が増加しているため、需給バランスが悪化し稼働率、客単価共に下落が続く。レストラン部門でも同様の状況が見込まれる。
都市型ホテル（営業担当）	・ 足元での予約の件数や客単価、売上の動きが引き続き良い。
都市型ホテル（経理担当）	・ 宿泊予約等は前年並みの動きである。
旅行代理店（経営者）	・ 中小企業は、淘汰の時代で生き抜いていくことがかなり難しい。この先の見通しが立たない。
旅行代理店（経営者）	・ 景気が良くなる要因が見当たらない。
旅行代理店（経営者）	・ ターミナル駅周辺というピンポイントでは、間違いなく消費は増加しているが、東京のスタイルをそのまま持ち込んだ物販店は苦戦し、早晩撤退する事態もありうる。モノからコト消費にいち早く移ったところが勝ち、出遅れたところは消えていくので、景気としては変わらない。
旅行代理店（従業員）	・ 夏休み旅行を計画する時期となる。出足はあまり良くないが、徐々に申込がある。特段の要因はないが、旅行番組や雑誌の影響を受けた申込もあり、例年並みの需要が見込まれる。

タクシー運転手	・景気が動く要素が見当たらない。
タクシー運転手	・長い間、繁華街の出入が少なく、このような状態がまだまだ続く。
通信会社（サービス担当）	・新規開局エリアでは光回線の申込があるが、他社の光回線を既に導入している家庭が多く、会社間の乗換えはあっても、新規申込等は少ない。
テーマパーク（職員）	・予約状況や問い合わせ等は、例年並みで推移している。
テーマパーク職員（総務担当）	・好転する要因が見いだせない。
ゴルフ場（企画担当）	・7月の予約数は各ゴルフ場とも順調に推移しており、前年同月を上回っているが、梅雨に入って天候に左右されることを考えると、数字的にはあまり伸びない。
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・米国や中国の情勢が不透明である。
美容室（経営者）	・これから暑くなるので、例年同様に客足が鈍くなる。
美容室（経営者）	・客は無駄遣いをしない傾向にあり、この流れからはあまり景気は変わらない。
美容室（経営者）	・地域で人口減少が続くと、購買力の低下も続く。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・施設従業員の労働条件改善が急務となっており、施設経営の状況としては、変わらないか、やや難しくなっていく。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・来年度の改正介護保険法の施行を控え、好転することはあまり考えられない。
設計事務所（経営者）	・個人客の設計案件はほとんどなくなっている。住宅を設計事務所に依頼するという文化は、既にないかもかもしれない。法人案件は、増築に関する問い合わせが多い。
設計事務所（職員）	・景気が良くなるような政策的な話は全くないため、今後も現状維持となる。
住宅販売会社（経営者）	・物価が上昇し、住宅ローン返済に充当できる金が減ってきており、購入希望者は様子を見ている。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の再延期の影響もまだ感じられず、横ばい状態となる。
商店街（代表者）	・暑さがピークとなる時期にかけては、消費が落ち込む。
百貨店（販売促進担当）	・北朝鮮や欧米等、国際情勢の不透明感により消費マインドが落ち込む。
スーパー（経営者）	・中小小売店では、じわじわと売上が減少している。
スーパー（店長）	・酒税法改正の影響で6月から酒が値上げとなり、一気に消費が落ち込む可能性がある。
スーパー（商品開発担当）	・ここ3か月の来客数は横ばいで、前年同月と比べると約1.5%減少している。今期に入って前年同月を上回ったことはなく、売上也厳しい状況が続いている。
スーパー（企画・経営担当）	・アルコール類の値上げで販売量が減少する。夏に向けてはビール類の販売を伸ばしたいが、増加を見込める要素がない。
スーパー（ブロック長）	・競合先の新規出店等が売上に影響している。号外のチラシも目につき、対抗できないような価格で売られている。そのような状況でも、人員不足のため人件費は引上げざるを得ない。
コンビニ（企画担当）	・近隣のコンビニがブランド変更となり、一層競争が激化していく。
コンビニ（店長）	・ドラッグストアが近くにオープンし、ますます厳しい環境となる。
乗用車販売店（販売担当）	・足元ではかなり活気に欠けるが、10～11月ごろにほとんどの車種の仕様がかわるため、現行車種をうまく販売していかなければならない状況である。
一般レストラン〔パン・カフェ〕（経営者）	・これから夏場に向けては、売上が減少する。
通信会社（企画担当）	・当地域では明るい話題が多いが、全国や世界に目を向けると先行きの不透明感は否めない。直接業況に影響するとは思えないが、メーカーの多い当地域としては、回り回って影響してくる。
テーマパーク（職員）	・近隣で新しい観光施設がオープンし、ファミリー層等が流れている。
パチンコ店（経営者）	・監督当局の規制強化により、客の求めるサービス水準に、設備が対応できない。
理美容室（経営者）	・客との話では、景気の良い話を聞かない。
美顔美容室（経営者）	・例年来店回数が減る時期となる。小さい子供がいる客は、家に子供がいる等の理由で来店しづらくなる。
住宅販売会社（従業員）	・住宅に金を使う動きは一段落している。

	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・家庭でも防犯グッズへの関心が高く依頼は増えているが、競合先と比較され販売量の割には利益にならない。必要な物でも最小限しか購入しない傾向にある。
×	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・景気は上向いてほしいが、夏場に向けて業況は悪くなる。
×	衣料品専門店（販売企画担当）	・衣料品以外に金が回っている。
×	一般レストラン（従業員）	・値上げが相次ぎ、外食を控える人が増える。
×	観光名所（案内係）	・天候不順が大きく影響する。早くから暑い日が異常に多く、台風の動きも例年とは異なる。その他にも値上げ等の影響が段々と表れてくる。メディアがいつているような景気が良くなっているという実感は、誰ももっていない。
×	理容室（経営者）	・相変わらず、景気の良い話はない。
企業動向関連 (東海)	*	*
	食料品製造業（経営企画担当）	・新工場の本格稼働を7月に控え、販売先も徐々に広がってきており、下期に向けて期待がもてる。
	一般機械器具製造業（営業担当）	・メキシコ自動車業界向け等、保留となっていた案件が受注できる見込みである。北米自動車業界向けの設備投資も、動きが活発である。
	電気機械器具製造業（企画担当）	・有事となった際に経済にどう影響するか等、不安要因はあるものの、保護貿易主義的な動きは、ある程度抑制され、この先数か月は安定した推移が見込まれる。
	電気機械器具製造業（経営者）	・夏以降に新製品を出すので、客先の業界は厳しい状況にあるが、売上の増加を期待している。
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・ガソリン価格等が下落するなかで物価は上昇しつつある。この動きから考えると、景気はやや良くなる方向である。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・4～5月の不調は、3月が良かった反動である。反動減が終わり、輸出もそこそこ堅調なので業績は回復する。
	輸送業（エリア担当）	・配送単価が上がっていく。
	通信会社（法人営業担当）	・スーパーの品ぞろえは、新年度を見越したのから夏のボーナス需要を見越したものに変更されている。売手の早めの取組で、買手の購買意欲も高まる。
	通信会社（法人営業担当）	・完全失業率の低下を、身近でも肌身で感じる。
	会計事務所（社会保険労務士）	・定期昇給額が前年に比べて増えている。業績が順調に伸びれば、更にボーナスの増加も期待できる。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・客先の案件は縮小傾向にはないため、継続的に受注が見込める。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・原油価格は米国の増産であまり上昇せず、我が国の経済にとっては非常に良いことである。ただし、米国の為替施策で基本的には円高方向となるため、企業としては対応が必要となる。
	食料品製造業（営業担当）	・ボーナスは横ばいか減少との話で、支出を抑える傾向は続き、景気回復にはつながらず現状と変わらない。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・今後2～3か月について、取引先からは特に良い情報もなく、景気は変わらない。
	化学工業（人事担当）	・会社の業績だけをみれば、やや良くなる方向であるが、北朝鮮や米国の政治問題等の海外情勢、為替の動向を考えると景気の方向感はつかみにくい。
	化学工業（総務秘書）	・特に悪くなる要素はないが、所得格差によって、景気の感じ方は人により異なる傾向が強まっている。
	窯業・土石製品製造業（社員）	・既往製品の受注量は増えつつあるが、新規製品の受注が難しいため、横ばいが続く。
	鉄鋼業（経営者）	・例年ならば客からの見積りや引き合いが多くなる時期だが、引き続き例年より2割ほど少ない状況が続いている。
	金属製品製造業（経営者）	・夏は低調になる時期であり、例年と同様に現時点での引き合いは少ない。秋からに期待したい。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・好調な受注水準を維持している。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・好転の見込みがない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・工作機械、自動車関係等の輸出物件による収益は増加し、若干の改善が見込まれるが、国内市場は販売単価等の状況が厳しく、まだまだ良くなるとは見込めない。
	電気機械器具製造業（総務担当）	・通信関連機器やシステム構築分野は活況になりつつあるが、技術者の不足等で工事の遅れが懸念されるため、積極的に受注活動ができない。
	建設業（経営者）	・足元ではまずまずの推移であるが、米国の大統領の動向や北朝鮮の問題等、依然として不安要素が多く、わずかな要因を契機として潮目が変わりかねない。

	建設業（営業担当）	・下水道の関連工事への進出に着手しているが、業務の絶対量には限りがあり、更に新しい分野を開拓していかなければならない。
	輸送業（従業員）	・猛暑が予想されている。予報どおりとなれば、季節商材が活発に動き一時的に景気は上向く。
	輸送業（エリア担当）	・景気が上向くような起爆剤や誘発剤となるものが見受けられない。生活のなかでは良くなっている面が見いだせず、先が見通せない。
	輸送業（エリア担当）	・燃料となる軽油価格の上昇が続いている。前年比で約16円の大幅な値上がりで、この先が心配である。
	輸送業（エリア担当）	・貨物量が変化する要因はなく、安定している。
	金融業（従業員）	・自動車産業では、部署によって生産状況等が二極化している。ハイブリッド等に携わっている部署は比較的忙しいが、通常の車種の部品を扱う部署では減少が続いている。
	金融業（企画担当）	・株高や円安になる要因があまり見当たらず、個人投資家の様子見が続く、当面は現状のままの景気が続く。個人投資家以外の個人消費は、ボーナス次第とみられる。
	不動産業（経営者）	・株価の上昇は、中小零細企業の活性化にはつながっていない。小規模企業では依然として資金繰りが苦しい。
	不動産業（用地仕入）	・分譲マンションの販売価格は、東京オリンピック開催のころまでは下らない。
	広告代理店（制作担当）	・夏に向けては、特に良い材料がないため例年とほぼ変わらない状態が続く。
	行政書士	・貨物量が安定している。
	公認会計士	・中小企業では、円高によるコスト増加、採用難による人手不足や残業代増加等に改善が期待できない。大企業との取引条件も改善していない。
	会計事務所（職員）	・設備投資の効果が明確に表れれば、好循環で景気の上昇を目指すことができる。
	印刷業（営業担当）	・景気の良くなるような話や動きは全く見られない。中小企業や零細企業にとって良くなる材料は全くなく、苦しい状態が続く。
	化学工業（営業）	・製品原料であるポリエチレンの仕入れが厳しい状況である。輸入原料の使用でコストが増加している。
	金属製品製造業（従業員）	・仕事が少なく、受注価格が低迷してくる。
	輸送用機械器具製造業（デザイン担当）	・我が国の経済は先行きが不透明で、世界情勢も一層不安定になるなかで、景気が上向きになるようには感じられない。
	輸送業（経営者）	・物流業界の人手不足は深刻である。コンプライアンス対応のコストと共に負担が大きい。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・6月から新聞折込料金が一部値上がりする。折込量が今までの8掛けとなり、折込料収入が減少している。
	x	-
雇用 関連 (東海)	人材派遣会社（営業担当）	・個々の企業が直接募集しても人材が集まらず、派遣会社や有料職業紹介事業者への依頼が増えてくる。
	人材派遣会社（経営者）	・先行きに安心はできないが、中小企業庁の補助金が今年度も多く設定されており、中小企業を中心に恩恵を受ける事業者が多くなる。
	人材派遣会社（社員）	・夏季のイベントが始まる。足元の予約状況も好調である。
	人材派遣会社（社員）	・下期が近づき人の流動が起き始める。
	人材派遣会社（支店長）	・新卒採用で、足元の求人ニーズには一服感があるものの、年間ベースでみた求人数は10%強と右肩上がりの増加が続いており、引き続き堅調に推移する。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・客先では、新型車種の好調な動きが今後も続く。
	職業安定所（職員）	・4月の新規求人倍率は2.05倍で、前々月より求人数が増加している。今後も新規求人数の増加が見込まれる。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・ボーナスが支給された後、10月ごろを目標に転職を検討する人が増加する。
	人材派遣会社（社員）	・求人条件に見合う求職者が少なく、採用決定が停滞する状況が続く。
	人材派遣会社（営業担当）	・国内外の情勢は不安定である。
	職業安定所（所長）	・有効求人倍率等は高い水準を示している。現状の従業員で対応可能な業務量の、ほぼ限界に達している分野もあり、企業は、人材確保が進まなければ、これ以上業務を拡大できず、景気の改善も足踏み状態となる。
	職業安定所（職員）	・求人数は増えているが求人条件はあまり変わらない。求職者数は減っており、企業には条件等の緩和を依頼しているが、なかなか良い返事をもらえない。

	職業安定所（職員）	・人手不足がひっ迫し、情報誌等を含めて求人募集を行っても応募者がいない。
	民間職業紹介機関（支社長）	・新規求人数は引き続き伸びている。
	民間職業紹介機関（窓口担当）	・求職者数が年間で一番少なくなる時期に入るため、求職者数の増加は見込みづらい。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・中小企業では既に採用試験を実施している企業もあり、就職協定の影響も感じられないほど、採用には意欲的である。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・夏場に入り景気上昇を期待したいが、根拠となる要因が少ない。
x	-	-